

I C Tの幅広い可能性に期待。

I C T建機の
可能性に興味

「I C T建機は、幅広い可能性を持っている！使える建機だ。」と話すのは、北海道の相互開発（株）の工事長 清水英幸さん。今回の現場は岩見沢市北村の圃場整備。担当営業に導入の経緯を聞いた。「田んぼの排水路やあぜを作る為にI C T建機を導入して頂きました。相互開発（株）様はかねてより新しい技術にとっても関心をお持ちでした。今年の初めにも、PC128USiを使用頂き、I C T建機をととても評価して頂き、今回も導入の運びとなりました。」と教えてくれた。工事長の清水さんに経緯を聞いた。「前回は同様の工事でI C T建機を使用しました。排水路の掘削や畦畔の築立作業はやはりI C T建機が効果を発揮すると考え、今回も導入しました」と話した。



工事長 清水英幸さん

北海道
相互開発（株）様

農地改良に必要な暗渠排水工事を得意工種にしている。

『自覚と責任を持ち、地域社会から必要とされる企業として発展する。』を会社方針としている。

今後とも地域農業にとって役立つ会社として発展することを願って活動を続けていく。

掲載月:2016年12月

予想を上回った
仕上がり

I C T建機の感想を工事長の清水さんに聞いた。「最初は、稼働前の段階での準備の煩わしさや、I C T建機の施工精度に対して不安を抱いていましたが、実際使用してみたら予想を上回る施工精度と実用性を感じました。」と話した。I C T建機は衛星から位置情報を取得し施工する為、今までにない準備に不安を感じたそうだ。さらに効果を聞いた。「丁張や作業員を必要とせず、機械の制御で施工が出来るなんて、長くこの業界に携わり、若手の頃には、こんな技術の建機があったらいいのにな、と思っていた形が実現してきたのかな」と教えてくれた。最後に「予想以上の仕上がりにもまた使いたいと感じた。今後のI C T技術の発展により更なるI C T建機の簡易性・利便性・実用性の向上に期待しています。」と話した。

